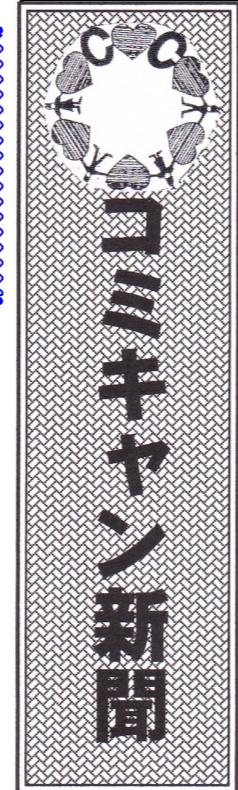




「西河原・橋の内コミキャン」では生活介護のメンバーさんみんなで、10月の中旬1週間を使って、一日に3、4人ずつでグループ分けして、茨木市内にある畑までお芋掘りに行ってきました。もちろん、西河原・橋の内コミキャンでも調理実習をして食べましたよ。秋の味覚を存分に味わって皆さん、大満足の様子でした。あー、おいしかった! 笑 (西河原・橋の内コミキャン・藤本さん談)



掘つたお芋は、調理実習で食べました。みんな大満足!



第138号

吹田市寿町1-6-10
TEL : 06-6318-1505
<http://www.communitycampus.jp/>

コミキャン編集委員会
発行者
社会福祉法人
コミュニティキャンパス

コミキャン新聞に掲載された情報(写真等)の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々及び社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。



みなさん、この春リニューアルしたコミキャンのホームページ、ご覧いただけますか?

コミキャン・ホームページでは、いろいろな新着情報をアップして、ヴィヴィッドな情報更新に努めています。役立つ情報、おもしろい情報がいっぱい!ぜひチェックしてくださいね。

また、皆さんのご意見もお聞かせください。

<http://www.communitycampus.jp>



コミキャン新聞編集員のひとりごと



今回は、最近見たDVDの話を。

このDVD「僕が飛びはねる理由」は、最近まで大阪でも映画館で上映していて、この夏に、僕も十三の小さな映画館で見る予定でした。ところが、その日都合が悪くなってしまったので、また次週に思っていたら、何とその週で上映終了! タイミング悪過ぎ、残念と思ってたら、その後DVD化され、この秋そのDVDをコミキャンで職員研修用に購入することになったのです。このDVDを一足先に見ましたので、今回はその話を。

映画は2020年イギリスで製作されました。原作は、障害(自閉症)を抱える作家・東田直樹さんが13歳の時に書き!

世界30カ国以上で出版されたエッセイ「自閉症の僕が飛びはねる理由」。

映像作品は、これをもとにしたドキュメンタリーで、世界各地から5人の自閉症の少年少女たちの姿やその家族たちの証言を通して、



自閉症と呼ばれる彼らの世界が、「普通」と言われる人たちとどのように異なるのかを明らかにしていく。そして、自閉症者の内面がその行動にどのような影響を与えるかを、映像や音響を効果的に使って再現を試みている。彼らが見て、感じている世界を疑似体験しているかのような映像表現で、「普通とは何か?」という抽象的な疑問に答えを見い出そうとしている。

原作者の東田直樹さんがインタビューに答えている。

自閉症の人は誤解されているのではないかと。現代の医学では、自閉症は生まれつきの中枢神経機能の障害と考えられているが、自閉症であることが悪い事だとは一概に言えないと思う、と語っている。

自閉症だろうとなかろうと、同じ世界に生まれて、同じ時間を過ごしている。個性の違いと同じように、違う事を理解しながら、一緒に生きて行くことは出来る。

「みんな同じ空の下、「普通」の君と
自閉症の僕との未来はきっとつながる」

他者と分断されがちな今を生きる誰もが共感しある、感動のドキュメンタリー。

ぜひ、機会あればご覧になることをお勧めします。

(コミキャンサポートセンター・西村)





今回は副菜にサラダがあったので、レタスをちぎつたりもしました。シチューはとても美味しかった！とのことで完売していました。

翌日に、その調理実習をまとめたレポートをみんなで作りました。イラストが得意なYさんが、他のメンバーが作業しやすいように枠や文字などを描き、それぞれのメンバーに作業を割り振っていました。

(このゆびとまれ・畠永さん談)

調理実習しました。

いのむぢしまれ（生活訓練



このゆびとまれ（生活訓練）が
りあん（地域活動支援センター）で

土替えしました。



重たい植木鉢を運んだ
しつて、とてもつかに
(メンバー・ひさん談)

草むす

土替えは、植物に詳しいスタッフの提案で始まりました。りあん（地域活動支援センター）の土が冷たく固くなつてしまつていったので、メンバーさんたちがスコップで掘り起こし、それをふるいにかけて大きな石を取り除き、腐葉土と石灰を混ぜました。スコップが人数分なかつたので、スコップのないメンバーさんは畠の草むしりをしてくれました。これで一週間ほど放置して、次に新しい土を混ぜるそうです。メンバーさんは、大きなさつまいもができるのが楽しみ、と言つてました。また近日中に、このゆびの前の植木鉢の土も入れ替える予定です。（このゆびこまれ・畠木さん談）

((このゆびとまれ・畠永さん談))



ダンス大会

2021年9月30日（木）このゆびとまれ （生活訓練）



ダンス大会は1ヶ月前からグループ分けして、それぞれ自分たちで決めた曲を練習してきました。ダンスに参加しないサポートたちには、曲名やイラストを描いたポスターをつくったり、パソコンで曲を流したりで、みんながこのダンス大会を盛り上げるのに役割を果たしてくれました。

本番一日前までダンスの仕上がりがない斑もいたので少し不安でしたが、本番ではどの班もばつちりと踊りきつていました。よかつた！

(このゆびとまれ・畠永さん談)



夏祭りの時からダンス大会がしたか
たので、それが叶つてとても嬉しい。
楽しかつた！（メンバー・Tさん談）

